

ほほえみ

笠間市
文化協会
会報

第14号

発行日 平成30年3月1日

編集・発行
発行責任者
事務局

笠間市文化協会
会長 郡司勝文
0296-77-0419



10周年記念合唱団



女声アンサンブル・萌



アロハ・マイ



笠間少年少女合唱団



オカリーナ・ともべ



女声合唱団マーガレット・エコー



女声合唱団コール・ポプリ



ローサス



Brother Beats

You・遊 スペシャルコンサート参加団体

もくじ

- 第10回 You・遊文化スクール..... 2P～6P
- 研修視察報告..... 7P
- 茨城国際音楽アカデミー inかさま情報 編集後記..... 8P



You・遊スペシャルコンサート

文化協会の存在をアピールでき、かつ会員相互の交流にも役立つ記念事業をと考え、「子どもたちの俳句・短歌に曲をつけた合唱コンサート」を企画しました。

子ども俳句・子ども短歌の合唱と、市内音楽グループの演奏とで二日間程度として構想を練りました。出演者募集のチラシを公的施設等に置きましたが、応募が少なかつたため、公民館で活動しているグループに直接協力をお願いしました。俳句・短歌合唱曲の演奏は協力を申し出て下さった既存の4合唱団に加え、この日限りの「10周年記念合唱団」＝協会役員をはじめ会員から募ったを結成し、5つの合唱団が20曲を披露しました。(短歌・俳句作品は2016年入選作)

- 出演団体(演奏順)
- ・10周年記念合唱団
 - ・笠間少年少女合唱団
 - ・女声合唱団 コール・ポプリ
 - ・女声アンサンブル・萌
 - ・オカリナ・ともべ(オカリナ)
 - ・ローサス(ギター・フルート・パーカッション)
 - ・アロハ・マイ(ウクレレ)
 - ・女声合唱団 マーガレット・エ

コー
Brother Beats (マーチングテナー・ドラム)

来場者の感想は・・・
「バラエティーに富んだ素晴らしい演奏会で楽しかった!。来年もやって欲しい。」「短歌や俳句がこんな曲になるんですね。文字だけ読んでもこれほど心に響かなかつたかも:ウルウルしました。」「懐かしい曲が聴けて嬉しかった。皆さんすてき!。ありがとうございます。」「ドラムを演奏されたご兄弟はプロですか?。また聴きたいです。」
出演者の声・・・

「二度とない貴重な体験をさせてもらった。」「楽しかった!。また歌いたい。」「色々な演奏をすぐ目の前で聴けて勉強になった。」「など新鮮な感動がたくさん寄せられました。短歌の作者の一人が聴きにきてくれました。」「曲になったことも、コンサートに呼んでくれたことも嬉しかった!。コンサートは皆が楽しそうだった。ありがとうございます。」「
コンサート来場者数 1277名
出演者数 118名
係員数 22名

この日のために、友部公民館大ホールのステージに反響板が設置されました。これは12年ほど前に

簡易的に作られ、その後片付けられていた物ですが、地元愛にあふれる方々のご尽力によって活用し易い形で復活しました。今後利用していただけたら幸いです。

作曲家(今井みどり)として、子どもたちの俳句・短歌は立派な文芸作品だと感じました。その瑞々しい感性が私の創作意欲に火をつけたのです。17文字や31文字の作品と向き合って:この気持ちを色にするってどんな色かな?。この場面にはこんな香りがしていたのではないかしら?...などと想像しながら音に替えるという楽しい二ヶ月間を過ごしました。おかげで予定より多くの曲が出来てしまいました。困ったほどです。

You・遊文化スクール体験教室

毎年開催している「体験教室」は、市内の3公民館で活動している非加盟の団体にも声をかけ、二日間の拡大開催を目指しました。

- 友部公民館のご協力により、全館を使用しました。
- ・コマキケイABCアカデミー
 - ・フラハーラウ(特別参加)
 - ・スポーツ吹矢笠間(特別参加)
 - ・アロハ・マイ(特別参加)
 - ・笠間ねぶた囃子愛好会(特別参加)

第10回 You・遊文化スクール

第10回「You・遊文化スクール」が昨年11月11～12日(土・日)に友部公民館で特別参加5団体を含め13団体が参加して開催されました。また、10周年記念事業として「スペシャルコンサート」が開催され、9団体の演奏を楽しみました。

- ・DO THE HULA Studio(特別参加)
- ・コトトククラブ 花いちもんめ
- ・プチ盆栽講座
- ・茶道研究会
- ・映像でわが町をつくる会
- ・スクエアステップ・リーダー会
- 友部支部
- ・友部俳句会
- ・友部短歌会
- ・わび茶

どの教室も熱気の感じられる二時間半でした。担当者が少し手のあいた時に他の教室を訪れ、お客様と一緒に体験を楽しむ姿も見られました。それぞれの教室を担当した皆さんは準備から片付けまでご苦労もあったと思いますが、来場者の笑顔で報われたのではないのでしょうか?。興味を持った方が入会されたという嬉しい報告もありました。

体験教室来場者数 488名
係員数 149名

なんとか無事に終えた記念のYou・遊文化スクール、協会会員はもとより市の担当部署の他にも温かいご協力をいただきました。目的を果たすことができました。心からお礼を申し上げます。

実行委員長 今井みどり



笠間市文化協会発足10周年、この記念すべき事業に初めて参加させて戴きました。参加各グループの暖かい雰囲気の中、フラの部屋において頂いた方々、お子さんと共に手を取られてステップを踏み、万物への大きな愛、そして優しさを表現しているフラの音楽に浸って下さいました。手足を軽やかに一つ一つの動きを真剣に取り組みされているご様子に胸あつい思いが致しました。
フラは健康のため、特に私たちが女性に最も適した運動と言われています。これからも機会がありましたら、一人でも多くの方々にこの健康フラを楽しんで頂けましたらと願って居ります。
私達コマキケイ フラスクールも昨年で継続23回目のフラ発表会を開催致しました。これからも頑張ってくださいますのでよろしくお願致します。
(コマキ会会主 コマキ ケイ)



You・遊文化スクールに初めての参加です。ゲーム感覚で楽しみなながら、カラダもココロも快調になれると注目されているスポーツ吹矢を皆様に体験して頂けるよう企画しました。
最初に所作・道具の説明、吹矢式呼吸法、的(ま)の狙い方を説明した後に、皆さんに吹矢を吹いて頂き体験会をスタートしました。小学3年生とママさんの勝手でとても嬉しそうでした。
他の体験者の方々も終了時間まで全員、スポーツ吹矢を楽しんで下さいました。
多数の体験希望、見学を頂きまして有り難うございました。機会がありましたら、是非スポーツ吹矢をお楽しみ頂ければ幸いです。
(スポーツ吹矢笠間 山口 富男)



You・遊文化スクールに初めて参加しました。何人くらい来るのか全くわからないので、とりあえず会員から様々なウクレレを集めて待機していましたが、参加者は7名と少なかつたのが残念でした。
参加者達は初めての人や、以前ギターを弾いていたという人、前日のフラレッスンを体験した親子がおり、皆熱心に体験しました。
ウクレレの弾き方や簡単なコードを教えると、5分くらいで弾けるようになりました。最後には、「聖夜」を唄いながらウクレレ演奏ができました。
ウクレレは小さくて手頃な楽器ですが、歌の伴奏やソロ演奏など幅広い表現ができる楽器です。今回の演奏体験でウクレレに興味を持っていただけたら幸いです。
(アロハ・マイ 河原井 規夫)

フラレッスン体験会

スポーツ吹矢体験教室

ウクレレ演奏体験

ねぶた囃子体験

今回、You・遊文化スクールが10周年ということで、初めて参加させてもらいました。最初はどんな感じになるのか、ドキドキしながら体験会の準備をしてきました。

最近では私たちの会も人数が減り、イベントの出演回数も減って、今では毎年8月に行われます「笠間の祭り・光のオブジェパレード」のみの参加となっています。なので今回の体験会を機に太鼓を叩きたい人が出てきてくれればと思います。

お客様には年配の方が多くきてくださり、子供も少なくなってきて、太鼓の音、大きさなどをいろんな人に理解してもらおうことができました。

今回の体験会を、今後の活動に活かしていけたらいいと思います。

(笠間ねぶた囃子愛好会 森田 潤司)



フラダンス体験

初めての参加でしたので、どのような不安でした。当日3階でコンサート等実施していた関係もあり、参加人数も少なかった気もしました。

体育室で「ねぶた囃子」の体験があり、その中の4〜5人がフラダンスの体験をしていただき楽しんでもらいました。

コンサートが終わり、帰りに4〜5人が体験に参加し、一曲踊りを覚え喜んでもらいました。

フラダンスのサークルが笠間市にはたくさんあり、改めて習いたい人が少ないのかと感じました。

この体験をして、一人でも多くサークルに入り踊ってみたい方が出てくる事を願っております。

(DO THE HULA Studio 山本 千代子)



猫のパッチン留め

You・遊文化スクール・体験教室は6年目になります。今年小学生の参加が多く、自分で作る楽しさを体験し、仕上がった時、「可愛い」と喜んで頂けました。

猫のパッチン留めは品物を挟んだり、人の集まる所で、持ち物に自分の目印としてすぐ分かるように留めたり、工夫次第で多種多様な使い方があります。



コットンクラブは現在16名、10年目を迎え、毎月第二土曜日、針と布に話しかけています。今、干支犬(こま犬、子犬、ダルメシアン、座敷犬等)を作っています。機会がありましたら作品を見てくださいます。

(コットンクラブ 花いちもんめ 安藤 和代)

ミニ盆栽をつくろう

真柏の苗を小鉢に植え、コケをはつてミニ盆栽をつくりました。

あらかじめ苗への針金かけと、底あみの固定は会員がやっておきました。

参加者は好きな形にまげたり、向きを考えたりして植えつけ、完成させました。家族での参加が昨年より多く、ほほえましい姿が見られ、大変良かったと思います。

(プチ盆栽講座 安見 廸生)



表千家茶の湯のおもてなし

第10回You・遊文化スクールに、表千家茶の湯のおもてなしで参加させていただきました。初日の午前中、友部公民館ロビーに立札の茶席を設けて、和菓子と抹茶を楽しんでいただきました。

できればお子様の参加を望んでいたのですが、わずか10人ほどの

ねぶた囃子体験

今年はこの地域の特徴的な体験として「陶芸」を企画し、手づくりの楽しいひとときを過ごすことができました。

参加者は、23組・31人が10周年という事で、初めて参加させてもらいました。最初はどんな感じになるのか、ドキドキしながら体験会の準備をしてきました。

最近では私たちの会も人数が減り、イベントの出演回数も減って、今では毎年8月に行われます「笠間の祭り・光のオブジェパレード」のみの参加となっています。なので今回の体験会を機に太鼓を叩きたい人が出てきてくれればと思います。

今回の体験会を、今後の活動に活かしていけたらいいと思います。

(笠間ねぶた囃子愛好会 森田 潤司)



スクエアステップ体験

さわやかな秋晴れの日、公民館内体育室にて「スクエアステップ」と「お手玉ゲーム」の体験を行いました。

今回は53名の参加で、共に体を動かし、笑い、日頃のストレスを発散する事が出来ました。親子

で満席となりました。短時間で仕上げる方あり、じっくりと作り上げる方もありと、子どもたちや親子、それぞれの発想や工夫で思いの作品ができあがりました。

作品は、公民館展示スペースで公開の後に持ち帰っていただきました。ものをつくる楽しみの体験会に、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

(映像でわが町をつくる会 枝川良雄)

(スクエアステップ・リーダー会 友部支部 後藤 ミチ子)



子ども俳句大会

友部地区の小中高生の俳句を集めた大会では、六百をこえる事前の応募作の中から五十句を選び、作品集「入選五十句」の発行と表彰を行いました。

また、子供達に俳句の世界に親しんでもらおうと続けている体験コーナーでは、全員で公民館の外へ出て、季

で参加して下さった方々も、親子共々笑顔で元気に楽しんで下さっていました。

(コットンクラブ 花いちもんめ 安藤 和代)

俳句大会優秀作品

大原小五年 関 拓実

スイカわりふらふらしてゐるわねかな

通字路新入生と歩く道

北川根小五年 成瀬 怜

カブトムシ空にぶんぶんあみを持つ

北川根小五年 上野 圭裕

さくの花きらきら光る花びらだ

お祭りけ虫も集まるにぎやかさ

大原小五年 小林 優輝

かき氷口にひろがるイチゴ味

友部小五年 石橋 淳光

スイスイと空をせおって赤トンボ

友部二小五年 川崎 大翔

夏休み宿題やらずに最後の日

友部二小六年 吉成 奏太

秋の空うしく大仏そばえ立つ

友部中三年 飯島 春香

万緑の隙間からみる銀閣寺

友部中三年 河村 友哉

風薫る大政奉還されし場所
友部二年三年 神田千奈見

秋の空ひこうき一機のびる雲
友部二中三年 寺田大

受験生いつもと違う桜かな
友部高一年 佐藤美玖

「君が好き」花火の音に隠れつつ
友部高一年 佐藤美玖

ジュニア短歌大会

笠間市文化協会になってから第10回、通算16回目。今年の応募は小・中・高8校から六三五首である。



出席者は、ジュニア31名とそのご家族。講師の磯田ひさ子先生と友部短歌会のスタッフが会を進めた。参加ジュニア達が先生との質疑に鋭い発言をし、活発な勉強会となった。

この日の午後の10周年記念イベントでは、我々スタッフも「記念合唱団」としてステージに立った。当日テキストとした『入選作品集』から、「特選」の作品を紹介する。
(友部短歌会 深井 雅子)

短歌大会優秀作品

友部高一年 宇佐美瑠莉
働きて初めて自力で対価得る

友部中二年 大田 葉月
疲れも怒りも焦りも経験
鶴ヶ城上から眺める町並みは
青空の下にあるプラモデル

友部中二年 西原 愛華
いつまでも頂上見えず雄国山
霧の扉が固く閉じる

友部二中二年 府川明日香
去年から使い始めた手ぬぐいの
あせた色から感じる努力

友部小六年 堤 百花
キンモクセイかおりただよう秋の
日に あまいたよりが毎日とどく

友部二小五年 中村 綾華
騎馬戦で力いっぱいがんばった
わたしがなるぞささえの馬に

友部二小六年 菊地 樹音
秋の日に家族そうで栗ひろい
みんな笑顔で大粒ぞろい

六小六年 林 祐輝
給食で野菜こくふく息とめて
一口食べるみんなの拍手

大原小五年 戸田せんり
登下校いつもの道で見つけたよ
小さな秋がひっそり見てる

北川根小六年 若菜利里香
なりたいたいなだれもおどろくダン
サーに まだ見ぬ世界私ひらく

茶の湯体験



例年よりもゆつたりした霧囲気の中で、体験していただけたように思います。より身近な物で、抹茶に親しんでいただけたらいいな、今年も併用しておこないました。小学生から年配の方、はじめての方、心得のある方：とさまざまでしたが、多くの方に参加していただくことが出来、熱心にお茶と向き合う姿に、私達も一生けんめい対応させていただきました。
文化協会10周年という節目に、参加出来たことをうれしく思っております。
また来年も皆様にお逢い出来ることを楽しみに、わび茶のメンバー一同、努力していきたいと思っております。
(わび茶 角田 節子)

10周年記念合唱団に参加して



女声合唱団コール・ポプリの一員としてお手伝いさせて頂いたこと、次のようなたくさんの方々の感動を体験しました。
指揮者の今井先生が中心となつて、何も無いところからきめ細かな準備を積み重ね、素晴らしいコンサートを実現できたこと。
その過程で、様々な方々の暖かいご尽力をいただいたこと。
美しいメロディにのって、素敵な俳句や短歌を歌えたこと。
10周年記念合唱団結成から、皆様お忙しい中練習を重ね、素敵な音楽を作り上げたこと。
コンサートに出演なさった各々の団体の方たちの心に響く音楽に触れたこと。聴きに来てくださった方々の暖かいメッセージ。
本当にありがとうございました。
(三村 千鶴)

笠間市文化協会 研修視察報告

日鉦記念館・吉田正音楽記念館 研修視察に参加して

野村 典子

秋に入り、雨の日が続きましたが、10月18日は晴天に恵まれた一日でした。参加者43名、会長さんのユーモアのある挨拶で、車内は笑いにいっぱいになりました。

昨年雪中止になった、日立市の日鉦記念館に向かいました。

森の中、大煙突が迎えてくれました。1905(明治38)年12月久原房之助は赤沢銅山を買収し、日立鉦山として開業しました。工業都市日立の発展の原点であり、また茨城県の近代鉦業の発祥でもあります。日立鉦山は、開業わずか数年で四大鉦山の一角を占めるまでに急成長し、以来1981(昭和56)年の閉山までの76年間、日本の近代化と経済発展に寄与してきました。その事業は、時代の要請に対応し、形を変えながらJX金属グループに引き繋がられています。

日鉦記念館は、1985(昭和60)年、創業80周年を記念して、

日立鉦山跡地に建てられています。

模擬坑道では、坑内の様子を再現、手掘りから機械掘りまで、採掘技術の変遷などを、実物機器と人形で紹介し、鉦石を手にとって覧ることが出来、先人たちの苦労がよくわかりました。

鉦山町のくらしも、生活上のための施策や、一山一家といわれた独特の風情を映像で紹介されました。又酒の禁止令を出し、貯蓄に力を入れ家庭円満、夫婦仲良く多くの人たちが働き、賑わいすべることが鉦山の中で出来ました。学校も5校(現在は3校)あり、子どもたちの明るい元気な声が聞こえていました。

大煙突の建設のエピソードで、砂利・砂・水など70kgも背負い、山道を何キロも登り、上で捏ねてコンクリートを流し込み、156メートルの大煙突が造られました。(現在は1/3の高さ)完成してからも、地域とともに煙害問題克服と自然回復に取り組みしました。煙煙器を使った実験、風向きを測定し、農家には煙害に強い種を配り、山には植樹をして緑を回復させ、現在の日立の「もの作りの街」「桜の街」の礎になりました。
案内人の丁寧な説明に、鼻の奥

がツンとする場面が何度かありました。

先日の新聞によると、新田次郎の小説「ある町の高い煙突」の映画化が進められ、今春には撮影、暮れに全国公開予定です。楽しみがひとつ増えました。

鶴の岬での昼食。さすが日本一、心温まるおもてなしを頂き、新鮮な魚料理にお腹も心もいっぱいになりました。売店では干物のおみやげを買う主婦の顔がみえました。

次に吉田正音楽記念館を訪れました。意外にも説明は外国の女性職員でした。

大正10年に日立市に生れ、日立工業専修学校研究科卒業、水戸陸軍歩兵第二連隊に入隊、シベリア抑留。昭和23年8月舞鶴に復員し、昭和24年4月日本ビクターに作曲者として入社。数々のヒット曲賞、日本レコード大賞特別賞、従四位、国民栄誉賞、日立市名誉市民と書ききれない程の賞に輝きました。

戦後の歌謡界、音楽界の巨星となり、誰からも愛される歌「いつでも夢を」「有楽町で逢いましょう」などが生れました。茨城の誇りです。



吉田正音楽記念館で



日鉦記念館にて

詠み人知らず
歌は、いつからか詠み人知らずになり、永遠の命を持つのではないのでしょうか。
私の作った曲が一つでも詠み人知らずになり、それを聞く日を楽しみにしたい。
吉田 正

第 14 回

茨城国際音楽アカデミー in かさま

2018. 3.21 (水祝) ~ 28 (水)

3.21 (水祝) 14:00開演 (13:30 開場)
一般 1,500 円 / 高校生以下 1,000 円
笠間公民館 大ホール (茨城県笠間市石井 2068 番地 1)

伊藤 恵 ピアノ・リサイタル 120分公演

難関ミュンヘン国際コンクール・ピアノ部門で優勝した唯一の日本人ピアニスト
ベートーヴェン2大ソナタとショパンの練習曲を弾く

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ「ワルトシュタイン」「熱情」
ショパン：12 の練習曲 Op.25



伊藤 恵
(ピアノ)
Kei Itoh, Piano

3.25 (日) 13:00開演 (12:30 開場)
一般 1,000 円 / 高校生以下 500 円
茨城県教育研修センター 大研修室 (茨城県笠間市平町 1410)

川久保 賜紀 アフタヌーン・コンサート 60分公演

チャイコフスキー・コンクール最高位のヴァイオリニスト 川久保賜紀
ブラームスのソナタとヴァイオリンの名曲集

出演：川久保 賜紀 (ヴァイオリン) / イリーナ・ヴィノグラードワ (ピアノ)

エルガー：愛の挨拶
クライスラー：愛の喜び
ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第 3 番 ほか



川久保 賜紀
(ヴァイオリン)
Tamaki Kawakubo, Violin

3.25 (日) 15:00開演 (14:30開場)
一般 1,000 円 / 高校生以下 500 円
茨城県教育研修センター 大研修室 (茨城県笠間市平町 1410)

ザハール・ブロン アフタヌーン・コンサート 60分公演

レービン、ヴェンゲーロフ、樫本大進、庄司紗矢香、川久保賜紀・・・
数々のトップアーティストを育てた名教授で名演奏家
ザハール・ブロンが贈るオール・ロシア・プログラム

出演：ザハール・ブロン (ヴァイオリン) / イリーナ・ヴィノグラードワ (ピアノ)

ストラヴィンスキー：ディヴェルティメント
チャイコフスキーの小品
シュニトケ：古い様式による組曲



ザハール・ブロン
(ヴァイオリン)
Zakhar Bron, Violin

編集後記

○私事ですが、雑種の中型犬を飼っています。犬は、何が大変かと言って散歩が大変で、飼い主の気分や都合とは関係なく戸外へ引っ張り出される羽目になります。

○散歩中、挨拶の返しがないと感じられる人とすれ違うことがあります。原因がある場合、自分の側に、一方的な見方は出来ませんが、何だか余計なことをしてしまったり寂しい気持ちになります。そして、つい、前を歩く犬に小声で愚痴をこぼしてみたりします。

○文化とは何なのでしょう。実は大げさなことではなくて、一本道ですれ違って、挨拶をされたら挨拶を返す、そんな気づかいの気持ちや指すのではないかと、この頃思うようになりました。文化協会の活動を通じて、そのような気風がますます醸成されんことを祈るばかりです。

○協会発足10周年の今年度は、協会員以外の方々からも沢山のご協力を頂きました。改めての感謝と共に、文化の支え手としての仲間入りをぜひ期待いたしております。

(鈴木 義雄)